

事業シート(平成31年度決算)

21_環境政策推進課_1

事業名	21800 環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		環境基本計画		
			目	19	環境政策費						
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を図る。	概要	・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	37,584MWh	未確定	90,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	29.2%	28.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	2,023	786	1,860	1,860	758	△ 28	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他()							
一般財源	2,023	786	1,860	1,860	758	△ 28	
個票枝番	主な事業内容						
	環境審議会	273	191	410	410	167	△ 24
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	940	411	600	600	340	△ 71
	森のエコハウス施設修繕等	500	12	500	500	143	131
	環境政策顧問の設置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
2,356	1,770	4,770	2,910
2,356	1,770	4,770	2,910
査定額	説明		
410			
600			
500			
3,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(2回) ・高山エネルギー大作戦子ども大学等の参加者 112人 ・木質バイオマスによる熱供給事業の視察者 302人
評価等	・高山エネルギー大作戦については、市民団体が主体となった取組みに移行した。 ・子ども大学などで自然エネルギーに関する講義や体験を通じて、子ども達にエネルギーや環境に関心を持ってもらうことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・自然エネルギー利用日本一の環境都市をめざし、自然エネルギーの導入と省エネルギー対策の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(2回) ・高山エネルギー大作戦子ども大学等の参加者 53人 ・木質バイオマスによる熱供給事業の視察者 241人
評価等	・国の第五次環境基本計画への対応や第八次総合計画との整合を図るため、第3次環境基本計画の中間見直しを行い、地球温暖化に伴う「気候変動影響リスクの低減」を基本施策に位置付けた。 ・子ども大学など、自然エネルギーに関する講義や体験を通じて、子ども達にエネルギーや環境に関心を持ってもらうことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・環境基本条例及び環境基本計画の基本理念、将来像の実現に向けた取り組みを推進する。 ・自然エネルギー利用日本一の環境都市をめざし、自然エネルギーの導入と省エネルギー対策の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・自然エネルギー利用と普及啓発の推進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・環境政策顧問の設置

21_環境政策推進課_1

21800

事業シート(平成31年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		環境基本計画、新エネルギービジョン		
			目	19	環境政策費						
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの新エネルギー設備の導入を促進する。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	37,584MWh	未確定	90,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	8.7万トン	未確定	12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		45,400	10,987	38,460	38,460	10,429	△ 558
特定財源	国費()						
	県費(自然エネルギー普及促進事業費 1/2)		1,152			903	△ 249
	その他(預託金元金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	22,300	700	20,600	20,600		
一般財源		23,100	9,135	17,860	17,860	9,526	△ 309
個票枝番	主な事業内容						
	木質バイオマス活用促進事業補助金	15,000	8,682	10,000	10,000	8,563	△ 119
	未利用間伐材の搬出促進	6,000	2,305	4,000	4,000	1,806	△ 499
	自然エネルギー活用支援	24,400		24,460	24,460	60	60

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		14,020
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,520	14,020	14,020	△ 24,440	
	200	200	△ 20,400	
40,520	13,820	13,820	△ 4,040	
査定額	説明			
10,000				
3,800				
220				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 73台 ・木質バイオマスボイラー導入台数 2台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 516t
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅プロジェクトと積まマイカーの運行によって地域の未利用材を木質燃料として利用するエネルギーの地産地消を促進することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 87台 ・木質バイオマスボイラー導入台数 1台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 482t
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅プロジェクトと積まマイカーの運行によって地域の未利用材を木質燃料として利用するエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・自然エネルギー発電事業については、送配電設備の容量不足により事業が進められない状況にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 ・地域における自家消費型エネルギー活用の促進を図る。 ・新エネルギービジョンの見直しを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・地域主導による自然エネルギーの活用支援に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度決算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	1	総務管理費		環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画				
			目	19	環境政策費		根拠計画				
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る。	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進
----	-------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	8.7万トン	未確定	12.4万トン
化石燃料から自然エネルギーへの転換量(年間)	4,506kl	未確定	9,000kl

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		6,150	5,503	6,150	6,150	5,695	192
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(民間事業者からの急速充電器設置協力金)		111			146	35
一般財源		6,150	5,392	6,150	6,150	5,549	157
個票枝番	主な事業内容						
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	6,150	5,503	6,150	6,150	5,695	192

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,080	6,000	6,000	△ 150	
6,080	6,000	6,000	△ 150	
査定額	説明			
6,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・急速充電器利用台数 4,312台
評価等	・経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車の普及促進に寄与している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・急速充電器利用台数 5,231台 ・水素ステーションの誘致 1カ所
評価等	・経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車の普及促進に寄与している。 ・水素ステーションの誘致や公用車への燃料電池自動車の導入により、市内における新たな次世代自動車の普及促進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・クリーンエネルギー自動車の普及促進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		環境基本計画、生物多様性ひたかやま戦略			
			目	19	環境政策費		環境基本計画、生物多様性ひたかやま戦略			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
特定外来生物防除活動団体数	13団体	17団体	-
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	438人	304人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		10,185	6,819	10,185	10,185	7,416	597
特定財源	国費()						
	県費(生物多様性保全推進事業費補助金 10/10)	4,000	3,720			3,898	178
	その他()						
一般財源		6,185	3,099	10,185	10,185	3,518	419
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習	3,500	1,862	3,500	3,500	2,075	213
	いのちの森づくり(苗木植樹等)	1,700	797	1,700	1,700	827	30
	特定外来生物の防除・啓発	4,550	3,802	4,550	4,550	4,000	198

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		9,185
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,175	9,185	9,185	△ 1,000	
9,175	9,185	9,185	△ 1,000	
査定額	説明			
2,700				
1,050				
5,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習の開催 16校 659人 ・山の自然学校の開催 4回 107人 ・いのちの森づくり植樹の実施 18人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 8回 112人 ・オオハシゴソウ等の防除手法の継続検証
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な取り組みにつながるような働きかけを進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習の開催 20校 949人 ・山の自然学校の開催 4回 121人 ・いのちの森づくり植樹の実施 24人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 7回 143人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・市内民間企業との連携により植樹が行われるなど、新たないのちの森づくりの取り組みが進められた。 ・生物多様性ひたかやま戦略の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な生物多様性保全の取り組みにつながるような働きかけを進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・生物多様性の保全と啓発に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。等
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	2	観光費		根拠計画		環境基本計画		
			目	3	自然公園費						
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	29.2%	28.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		191,297	182,579	97,816	97,816	93,942	△ 88,637
特定財源	国費(地方創生拠点整備交付金1/2等)	47,667	48,454	8,250	8,250	8,188	△ 40,266
	県費(乗鞍スカイライン道路/パトロール事業委託金10/10等)	27,050	27,591	13,680	13,680	15,417	△ 12,174
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	10,800	11,200	1,100	1,100		
一般財源		105,780	95,334	74,786	74,786	70,337	△ 36,197
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	24,971	23,686	23,290	23,290	22,330	△ 1,356
	乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備	83,732	76,156	1,149	1,149	1,244	△ 74,912
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	36,680	36,474	34,310	34,310	33,874	△ 2,600
	エコパークの推進	1,000	962	1,000	1,000	1,004	42
	ジオパークの推進	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	0
	登山道管理	29,330	29,954	9,980	9,980	10,636	△ 19,318
◎ 1	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金			12,500	12,500	9,952	9,952

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		116,664
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
121,448	116,664	116,664	18,848	
7,250	7,250	7,250	△ 1,000	
23,513	23,050	23,050	9,370	
	400	400	△ 700	
90,685	85,964	85,964	11,178	
査定額	説明			
24,310	指定管理委託料、山小屋修繕費等			
34,420				
1,000				
14,500				
28,690	山岳トイレ整備の増			
12,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,017人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計 105,199人 ・乗鞍フォーラムを開催し、約160人が参加 ・乗鞍早期開通事業を開催し、396人が参加 ・山の日制定記念ガイドツアーを開催し、114人が参加 ・白山ユネスコエコパーク荘川体感ツアーを開催し、17人が参加 ・岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会を設立 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森ゴスワラコース及び仙人小屋の整備 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 ・国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会設立などを契機とした、国、県、関係団体等との連携が強化され、持続可能な地域活性化に向けた体制強化が図られた。 ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者減少が続いているため、国、県、地域と連携を図りながら入り込み増加につながる取り組みを進める必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森についてゴスワラコース開設を契機にさらなる利用者増加につながる具体的な取り組みを行う。 ・中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、一体的な自然保護と地域活性化の取組を推進する。 	

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,095人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計 102,094人 ・乗鞍フォーラムを開催し、約90人が参加 ・乗鞍早期開通事業を開催し、280人が参加 ・山の日制定記念ガイドツアーを開催し、22人が参加 ・白山ユネスコエコパーク荘川体感ツアーを開催し、22人が参加 ・岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 ・国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携が強化され、持続可能な地域活性化に向けた体制強化が図られた。 ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者増加に向け、国、県、地域と連携を図りながら入り込み増加につながる取り組みを進める必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 ・中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、一体的な自然保護と地域活性化の取組を推進する。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク、ユネスコエコパークに対する市民理解の醸成に向けた取り組みに必要な経費を計上 ・中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化の推進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策推進課	
枝番・内容	1 県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線			2282
		<input type="checkbox"/>		目		3	自然公園費	作成年月			R2.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	高山市における中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化や誘客促進	概要	岐阜県との連携による岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会を設置し、同エリアにおける活性化に関する協議や調整、自然体験プログラムの造成や誘客イベント、広告宣伝などの企画、実施を行う
----	--------------------------------	----	--

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	12,500
主な経費	岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		12,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	12,500
	繰越	
	補正等	
	最終	12,500
決算額		9,952
対前年度増減額(決算)		9,952

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,500
主な経費	岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> 協議会、幹事会等の開催 自然体験プログラムの造成 情報発信、誘客イベントの開催 メディアへの広告宣伝 等
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> H31.3～ 協議会の設立 H31.4～ 負担金支出

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> 協議会、幹事会、部会等の開催 魅力増進事業の実施 ⇒乗鞍岳や奥飛騨温泉郷などにおける活性化イベントや自然観察教室、ガイドツアーの開催や看板整備などを行った。 魅力発信事業の実施 ⇒大手アウトドアブランドや各種メディアと連携した情報発信やHPの作成などによるPRを行った。 ガイド人材育成事業の実施 ⇒乗鞍山麓五色ヶ原の森におけるガイド研修を行った。 環境教育推進事業の実施 ⇒乗鞍岳地域探検ゲームの開催や自然環境学習用教材の作成、ニュースレターの発刊などを行った。
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> 市内の中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化に向けた、県、市、地元関係団体、企業などによる連携体制の強化や多様な活性化策の実施による普及啓発につなげることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> 協議会、幹事会等の開催 自然体験プログラムの造成 情報発信、誘客イベントの開催 メディアへの広告宣伝 等
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> R2.4～ 負担金支出